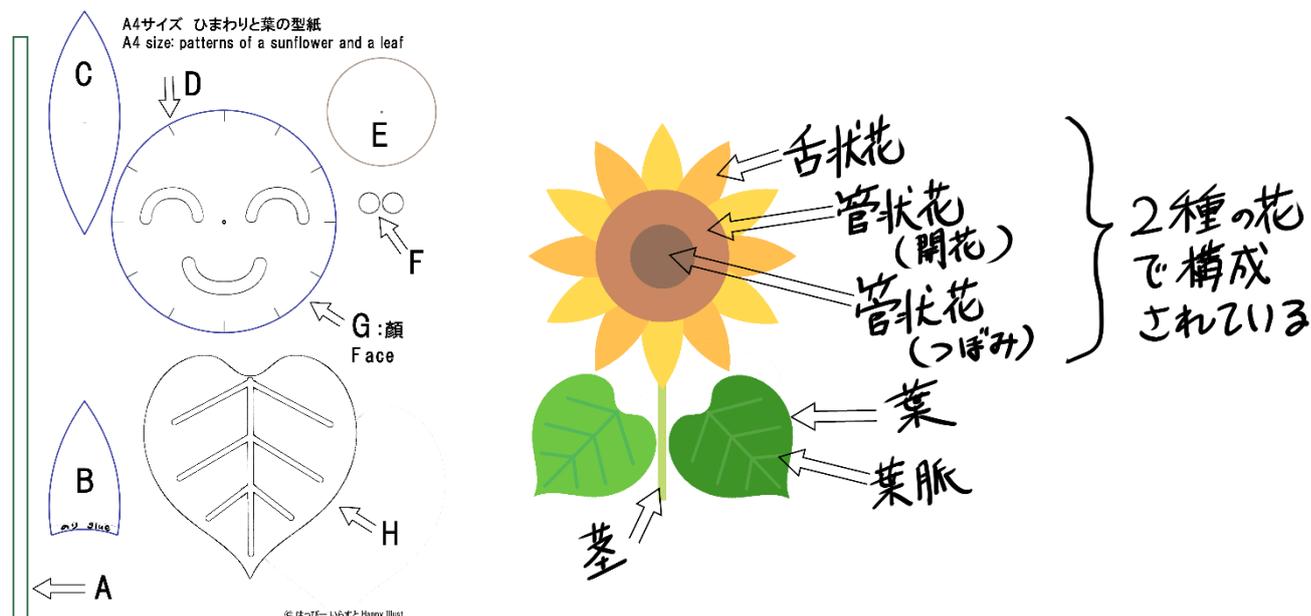


ひまわり制作のための説明 制作の前に一読されると作りやすく綺麗に作れます

※当サイトの画像・文章の無断転用は禁止されています

制作した作品は個人的にご利用、あるいは制作した方が勤める場所でのみご利用ください

当サイトの素材を利用して制作した物をフリマアプリやオークション等いかなる場所においても販売することは禁止されています



A: 茎です お好きな長さに切ってください:薄目の緑色の方が花が際立ちます
※背の高いひまわりを制作する場合は長く、背の低いヒマワリの場合は短く
茎を長くする場合は、葉も少し多めに制作されると良いです

B: 花(舌状花:ぜつじょうか): 短いバージョン(紙を節約する場合)
ヒマワリの真ん中の「丸」(D部分:管状花)の後ろ側から貼り付けてください
貼る際は、Dの線にBの中心線を合わせてください
色は2色を交互に貼ると華やかですが、1色でも構いません

C: 花(舌状花): 長いバージョン
Bよりも紙の面積を使いますが、出来上がりはよりしっかりした物になります
ヒマワリの真ん中の「丸」(D部分:管状花)の後ろ側から貼り付けてください
貼る際は、Dの中心点にCの端を合わせてください
色は2色を交互に貼ると華やかですが、1色でも構いません

D: ヒマワリの真ん中の「丸」部分:管状花:かんじょうか
線がありますので、線を目安にBやCの舌状花を貼ってください
BやCの舌状花の幅の中心と、Dの線を合わせてください

E・F・G はどれか選んでDの表面に貼ってください
E・F・G のどれかをDの表面に貼り、完全に乾いた後に BかCを裏側に貼ると
全体が綺麗に仕上がります

E : D の管状花の中心部分です D よりも濃い茶色の方が自然な印象です

F : D の管状花の中心部分です

小さい丸を切るのは面倒くさいし大変ですので丸シールなどの代用で OK
大きさは、見本の大きさか見本より少し大きめだとバランスが良いと思います

G : D の管状花の中心部分です 笑顔のひまわりを制作する場合、ご利用ください

D の部分より薄目の茶色にすると、雰囲気柔らかくなります
はっきりと表情を見せたい時は、濃い茶色の色紙をご利用ください
細かいので、クレヨン等で描いていただいて OK です

H : 葉です 幾つか作る場合、2色にすると華やかです

葉の土台の色を濃い緑にする場合、葉脈（ようみゃく）はやや薄い緑にし
葉の土台の色を薄い緑にする場合、葉脈はやや濃い緑にすると
見栄えが良くなります ※葉脈はクレヨンなどで描いても良いと思います

お子さんに手伝ってもらって制作する場合の案

1:完成図を見てもらう「こういう ひまわりさん 作ってみよう」と優しく

2:お子さんの年齢に合わせた形をハサミで切ってもらう

Aが一番簡単 CBDはハサミに慣れた頃 EHは難しい

Fや顔の中、葉脈は小学生高学年くらいから(難しすぎるので、クレヨン等で描いてOK)

3:花の中心

A:お子さん達に丸シール（年齢に合わせた大きさの物）を貼ってもらう

その場合は、色紙を丸より一回り大きめの四角に切っておき

色鉛筆などで薄く丸の線をひいて、お子さんにシールを貼ってらい、その後丸形に合わせて紙を切ると、お子さんもシールが貼りやすいと思います
もし丸形からシールがはみ出ている、それも味です！

B:お子さんに顔を描いてもらう

※あまり小さいお子さんだと、この大きさの丸の中に描くことは難しいです

C: お子さんの手形をつける 小さいお子さん向け